

基本政策 2 豊富な緑の中で生活ができる

【基本政策の方向性】

本市の貴重な財産である自然環境・景観を次世代に継承するため、緑の保全に努めるとともに、新たな緑の創出を進めることで、多くの人々が訪れ、親しみ、憩い、交流できる空間を確保し、豊富な緑の中での生活ができる“まち”を目指します。

5年後の目指す姿

「緑地の創出・維持」

まちと自然の共存を実現し、斜面林、屋敷林、湧水などを貴重な財産として後世に引き継げるよう緑地を適切に維持し、新たな緑地の創出を目指します。

【数値目標】	現状値		目標値
市内の緑地面積	68,101.1 m ² (R1)	⇒	88,101.1 m ² (R7)

基本施策

2-1 豊かな自然の保全・活用

緑地保全基金¹、市民緑地、緑の散歩道の制度により、市民が身近に緑と親しめる豊かな自然の保全、活用を目指します。

【KPI】	現状値		目標値
保全できた緑地面積	68,101.1 m ² (R1)	⇒	維持 (R7)

【主な取組】 計画的な緑地の取得

緑地保全基金の充実を図り、計画的に緑地を取得していきます。

【KSF】	現状値		目標値
公有地化する緑地面積	—	⇒	+2,839 m ² (R7)

¹ 市内に残されている貴重な樹林や緑地を保全目的として取得するため基金

2-2 緑化の推進

緑豊かな市の魅力を維持、向上していくため、公共施設の緑化、個人宅の緑化、企業の緑化を推進します。

【KPI】	現状値	目標値
緑地面積	— ⇒	+20,000 m ² (R7)

【主な取組】 公共施設の緑化の推進

緑豊かな自然環境、景観を市が率先して維持向上していくため、道路、駅周辺、公園、学校などの公共施設の緑化に継続して取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
公共施設の緑化	— ⇒	継続 (R7)

関連する SDG s ゴール



貴重な自然の保全に努め、本市の貴重な財産として、次世代にこの豊かな自然環境を引き継いでいきます。 関連ターゲット (11-4、11-6)



市民が身近に緑に親しめる環境をつくり、自然と調和したライフスタイルを確立します。 関連ターゲット (12-8)



緑地の保全、活用を進めるとともに、緑化の推進、新たな緑地を創出し、緑と自然豊かなまちづくりを進めます。 関連ターゲット (15-2)

関連計画等

富士見市都市計画マスタープラン（令和3年度～令和22年度）

関連部署

まちづくり推進部 まちづくり推進課